



一部役員の自己保身で「分裂組合」へ 組合員を連れていくことは許さない！

『14名の中央執行委員に春闘責任を押し付けた』の真実！

東京地本の役員は、中央本部は『吉川元委員長・宮澤元東京地本委員長ら14名に、18春闘の責任を押し付けた』と言っていますが、制裁理由を見れば事実と異なる嘘であることが分かります。

【制裁理由】

吉川元中央本部執行委員長

職場でスト権議論を行っている最中、青年部や一部地方本部さらには会社幹部に対して、組織の最高責任者として「ストはやらない」と発言したこと。⇒指導者としての質が問われました！

宮澤元東京地本委員長

これまでの確立している慣習や慣行を逸脱し、本部への相談も承認もなく「不当労働行為申し立て」を行ったこと。⇒団体交渉も終わっていないのに都労委へ救済申し立てを行う協約違反を問われる！

12名の中央執行委員（東京・八王子・水戸地本選出の執行委員）

第35回臨時大会の開催をめぐり意見が対立する中、方針議論が残っているにもかかわらず、多くの執行委員の制止を聞かず中央執行委員会を退場したこと。⇒任期途中で任務を放棄したことが問われる！

いま、「分裂組織」を結成しようとしている人たちこそ、18春闘の総括が出来ていません。「格差ベア永久根絶」を求め「こだわらない」で妥結したことを成果と打ち出し、多くの組合員の信頼を失った反省に立てていません。そして、東労組からの大量脱退を「会社」と「脱退した人」の責任にして、自らの問題に一切向きません。

**感情に流されず、冷静になって真実を見て下さい！
自らの将来のために、正しい判断をしていこう！**